

意見文を書く――論理的思考を手に入れるために――

目的 みんなが相手に伝わる意見文の構造を理解する。
目標 みんなが意見文のフォーマットに合わせた文章、理由と結論が結びついた文章を書けるようになる。

(課題)「日常性の壁」焼き直し作文

「田常桂の壁」を諺論文の構造にあわせて書き直すことで、諺論文の構造を会得する。

以下のフォーマットにあわせてノートに書き直すこと。（）に記号が入っている場合は、「見文を書く」のプリントの該当している欄を文脈に合わせて入れる。

一般論には聞くの嫌悪感の出本は（ ）
心頭ねれへこるが、僕せんせ也豊潤こども。もの理
由せり。右角N°。1の皿せり（ B1-1 ）」。11の皿せり（
B1-2 ）」。右角N°。また、聞くの嫌悪感の出本せ実せ
（ ）右角N°。もとの皿せり（ B3 ）」。右角N°。
左角、聞くの嫌悪感の出本せ（ ）右せな
こと。右角N°。もとの皿せり。1の皿せり（
B1-1 ）」。右角N°（ C-1-1 ）
もとの皿せり。1の皿せり（ B1-2 ）」。右角N°（ C-1-2 ）
）。
最後に聞くの嫌悪感の出本せ僕せ（ ）
である。右角N°。もとの皿せり（ B3 ）」。右角
N°（ C3 ）。